

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表【平成30年度】

法人名	社会福祉法人 高田福祉会	代表者	小菅 貞一	法人・ 事業所 の特徴	ケアホームあいびすはイルクオーレとよぼの2階にあり、1階には歯科クリニック及びリハビリ特化型デイサービス、3階はサービス付き高齢者向け住宅になっている。近隣には大型スーパーや県立病院、クリニック、薬局等があり、利用者が生活しやすい地域環境にある。
事業所名	ケアホームあいびす	管理者	中村 啓一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	1人	1人	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	サービス評価を例年11月～実施していたが、年末年始の忙しい時期と重なるため、来年度は9月～実施に変更する	9月～実施に変更したが、11月の運営推進会議は併設の地域密着通所介護と同時開催であったため、検討時間が確保できず、例年と同じ1月検討となった。但し、例年より1ヶ月前に事業所評価を配布できたことは委員の方にとっては良かったと思う。	来年度も継続でいいと思う。	来年も同じ時期に実施。
B. 事業所の しつらえ・環境	玄関には花や鉢植えなどの季節感のあるものが良いと思う。2Fあいびす入口は四季に合わせて定期的に掲示できている。あいびすの中には様々な飾り物があり雰囲気も明るい。干支の飾り物が利用者の目に届かないところに掲示してある為、場所を変更してみてもどうか。	玄関脇の花壇は長年松葉菊を植えていたが、今年は季節感のある花を利用者と一緒に植えた。施設内は1クール毎に飾り担当を設けたことにより、個性的な飾りが増えた。	特になし。	継続。
C. 事業所と地域の かかわり	広報誌がカラフルすぎて少し見にくい為、もう少しシンプルでもよいかと思う。また、月毎に構成が違う為、統一感がない。	広報誌の構成を統一し、今年度は新たに職員紹介を盛り込んだ。カラフルさはあまり変化なし。	職員紹介により、初めて名前を知った人もいた。	訪問時、送迎時は必ず身分を証明するものを携帯。 自宅に入る時は、挨拶+「あいびす〇〇です」と声をかける

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	業務もあるので現状で良いのでは？	地域のサロンにはあまり参加できなかった。 地域のイベントに出品・参加したり、地域対象のイベントを施設内で開催するなど、地域との繋がりは昨年以上に増えた。	地域との関りは大事だが、通常の業務もあり、職員の負担になっていないか？ 人の役に立つことはとても良いことなので、施設内で地域のためにできることがあれば、良いと思う	職員の負担にならない程度に利用者による地域貢献を継続していく
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議にて意見交換できている	新たな取り組みを計画した時は必ず運営推進会議にて提案し、委員の意見を参考に実施している。	特になし。現状で良い	継続
F. 事業所の 防災・災害対策	火災だけでなく水害や地震などもある為、より具体的なマニュアルがあるといいのではないか。実際に災害があった時に家族はどう動いたらよいか分からない。あらかじめ一時避難場所等分かりやすいものがあるとよいのでは。	【非常時・緊急時の対応及び連絡体制】というフローチャート化した一覧表を作成し、利用者・家族に配布した。	特になし	地域の方も参加しやすい防災訓練を計画していく